

共生



小学校高学年

中学校

道徳

道徳ドキュメント 人とつながる 家族ではないけれど

🕒 15分

(2011年放送)

この番組の良さ



人とつながることの大切さ

医師として人を支える山中修さん、ボランティアとして人を支える長田明子さん。2つの違う立場で人を支える活動から、人とつながることの大切さを改めて考えさせられる内容となっています。

相手を思いやることの大切さ

山中医師の「放っておけない」という言葉から、人を支えるということは相手を思いやることだということを感じさせてくれます。番組の根底には、「一人ではさびしい」というテーマがあり、人が生きていくには人とのかわりが大切であり、相手を思いやることで人と人との絆が深まるということを考えさせてくれます。

この番組は、一人で暮らすお年寄りや周囲の人たちの交流を通して、人とつながることの大切さを知ることができます。

番組活用のポイント

高齢化社会に対する問題意識として

総務省によると、一人暮らしのお年寄り数はおよそ386万人（2005年）で7人にひとりの割合となっており、社会問題となっています。この番組を通して今後ますます進むであろう高齢化社会に対して問題意識をもつ良いきっかけとなります。

人を支える2つの活動

「先生に見てもらって安心して生活ができる」と述べているお年寄りの言葉から、医師としてお年寄りに寄り添う山中さんの活動が無くてはならない活動であることを学ぶことができます。患者に対する治療というだけではなく、患者の心をケアする山中医師の活動を通して医師の仕事の新たな側面に気づかせてくれます。

また、学生ボランティアとしてお年寄りに寄り添う長田さんの活動から一人で暮らすお年寄りの生活の厳しい状況を深く考えさせてくれます。お年寄りの生活に寄り添う長田さんの姿を通して、一人暮らしのお年寄りに必要なことは何なのか、その周りにいる人に求められていることは何なのか、ということを考えさせてくれます。

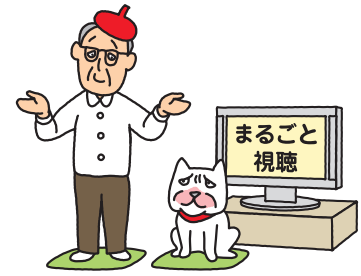
人は一人では生きていけない

「自分の居場所」を見つけることが何歳の人にとっても一番大切なこと」という山中さんの言葉から、単にお年寄りの問題としてだけではなく、自分の未来の問題として考えることができます。「自分の学級にひとりぼっちになっている人はいないか」「自分の周囲に一人で寂しくしている人はいないか」と自分の問題として考えることで相手を思いやる態度を育てることや、よりよい人間関係づくりにつながります。

(名嘉原安志)

学習展開例 授業時間 50分 (45分)

人とつながることの大切さ 相手を思いやることで絆が深まる



時間配分	学習活動	教師の支援
5分	①自分の身の回りに一人で暮らしているお年寄りがいるか発表し、一人で生活することについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の祖父母や身の回りに一人で生活をしている人がいないかを想起させ、「生活することで大変なことはないだろうか?」ということを考えさせる。 ○自由に発表させながら、一人で生活することの大変さをイメージさせたい。
15分	②番組を視聴しながら考える。 <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>視聴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者との話し合いを大切にする山中さん </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・学生ボランティアとしてお年寄りの生活に寄り添う長田さん </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分が逆に励まされている」と語る長田さん </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分の“居場所”を見つけることが大切」と語る山中さん </div> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○医者として患者を治療するだけではなく、会話を大切にしながら患者の心に寄り添う山中さんの姿を通して、同じ目線で心を通わせることの大切さに気づかせたい。 ○お年寄りと同じ目線で生活に寄り添う長田さんの姿を通して、相手を思いやることの大切さを気づかせたい。 ○相手が自分を必要としているだけではなく、自分も相手を必要としていることに気づいたと語る長田さんの言葉から、「サポートしてあげる」というのではなく、お互いに交流を必要としていることに気づかせたい。 ○人が安心して生活するためには、「自分はここに居ていいんだ」という自分の“居場所”を実感できることが大切だということに気づかせたい。
20分 (15分)	③番組を視聴後、感想を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・医者としてお年寄りに寄り添う山中さんの姿をみて感じたことを話し合う。 ・学生ボランティアとしてお年寄りの生活を支える長田さんの姿をみて感じたことを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○医者の仕事にも様々なスタイルがあり、山中さんのように地域やお年寄りに特化した活動の大切さに気づかせたい。 ○お年寄りの生活を支える活動をすることで、自分自身もお年寄りから支えられているという長田さんの姿を通して、お互いに支え合うことの大切さに気づかせたい。
10分	④学習のまとめと振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○山中さんの「そんなんじゃ、寂しいでしょ」という言葉に触れながら、「一人であることは寂しいことなんだ」ということに気づかせたい。 ○お年寄りだけではなく、自分がすぐできることとして、友人や身の回りにいる人に対する思いやりのある行動についても書かせたい。